

第3次岩国市地域福祉活動計画(R3～R8)
実施状況評価表・追加アクション【令和4年度活動実績】

社会福祉法人 岩国市社会福祉協議会
第3次岩国市地域福祉活動計画策定評価委員会

1 評価の目的

第3次岩国市地域福祉活動計画は「わたしがつくる、みんながつくる、ともに支え合い、助け合うまち いわくに」を基本理念に定め、その基本理念に近づくために5つの基本目標を掲げ、市民の皆様や地域団体の皆様、法人や企業、学校等の組織の皆様のご参画を得て、実施しています。本計画の令和4年度の活動状況は、アンケート調査等で把握した結果、以下のとおりとなりました。
この評価は、令和4年度の活動状況から見える課題等を明確にし、令和5年度以降の計画の方向性等について協議することを目的としています。

2 活動状況の把握

地域の活動状況を把握するため、インターネットを活用したアンケート調査を実施しました。依頼は、ホームページや本部版社協だよりでの依頼、計画書を配布した皆様への依頼文書発送等でお願ひしました。今回は市内の児童生徒さんにも学校を通じてお声がけしました。

3 評価の方法

担当者による素案作成、地域福祉課長、事務局長との協議の段階を踏んで社協としての案を作成し、委員長確認の後、策定評価委員会の皆様に協議いただきました。

①担当者による素案作成

それぞれの推進項目について、活動状況アンケートの分析を行い、実施状況の確認と評価、課題の抽出を行い、右記の達成度と方向性の案を示しました。

②地域福祉課長、事務局長から見た評価

担当者が作成した評価等の内容について、地域福祉課長、事務局長の総括的な意見のもと、担当者作成の素案を修正した社協としての案を作成し、委員長に示しました。

③策定評価委員による評価策定

社協が作成した評価等の案を委員長に示した後、策定評価委員の皆様に協議いただき、最終的な評価として、この評価表を作成しました。

○活動の達成度

- A・・・市全体で実施できている
- B・・・市全体で概ね実施できている
- C・・・一部で実施できている
- D・・・実施できていない

○今後の方針

- ア・・・継続
- イ・・・拡大
- ウ・・・見直し
- エ・・・縮小
- オ・・・終了（休止）

※アンケート回答者数の取り組み実施数で判定しています。

4 追加した項目

令和4年度の実績において検討した結果、令和5年度以降、皆様に取り組んでいただきたい追加アクション（計画）はありませんでした。現行の計画を皆様とともに取り組み、地域福祉の向上に努めてまいります。

5 今後の対応

策定評価委員会で正式に取りまとめられた意見は、社協のホームページや社協だよりを通じて、市民の皆様や各種団体等に周知し、さらなる活動の展開・充実化をお願いしていきます。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(1) みんなで支え合い協力し合える仕組みづくり	①自主活動や制度を利用した地域づくり活動	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつなど気軽に行える地域づくり ・地域の諸活動に興味を持つ ・自治会活動や地域の諸活動および行政活動に参加 	活動 状況	市民	個人に対する自主活動や地域づくり活動についての質問では、あいさつでの関わりが90%で一番多く、続いて世間話が55%あり、回答いただいた方の多くは地域とのつながりがあると思われる。【218/222】	B	方針	イ 拡大
		地域 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・団体内や他団体との交流で地域づくり ・各団体でできるボランティア活動の展開や仲間づくり ・行政や各種機関が募集する活動に参加 ・各団体の広報誌等を活用、活動の周知 		地域団体に対する地域づくり活動についての質問では、あいさつや声掛け、周知活動が62%で一番多く、他活動への協力が51%で続いた。継続し地域づくりに寄与していただけることが望まれる。【56/58】				
		法人 等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ボランティア活動で市民や関係機関と連携 ・発行している機関紙等で募集、事業の報告 ・行政や各種機関が募集する活動に参加 ・参加しやすい環境づくり ・組織の一員としてできることを考えてみる 		法人等に対する地域づくり活動についての質問では、あいさつや声掛けが79%で一番多く、他活動への協力が31%、周知が27%で続いた。その他で奉仕活動等の入力も見られた。組織としての動きの中、今後もできることから取り組んでいただけるとよいと思われる。【77/86】				
		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険の手続き支援 ・ホームページや広報誌でボランティア活動を周知 ・各種団体の活動を把握、紹介やマッチング ・行政や各種機関が募集する活動に参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・全支部で概ねいろいろな地域づくりを支援している。 ・予算上や人員等により、カバーしきれない問題は継続している。 				
					成果 や 課題	多くの方、団体、組織があいさつを基本につながりづくりをされている。調査方法、調査対象者の拡大により活動に関わる数値は減少したように見えるが、独自の活動を入力された方もあり、いろいろな地域づくりを行っておられることが分かる。回答者が何かの項目に取り組みされている実施率が50%を超えており、昨年度と同じ【判定B・方針イ】とする。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	I
							市全体で概ね実施できている		拡大
(1) みんなで支え合い協力し合える仕組みづくり	② 困りごとなどを地域で話し合える場づくり	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや井戸端会議など気軽に行える地域づくり ・困った人がいたら相談事業を伝える ・仲間同士で気軽に話し合える場を作る ・仲間等からの話は他に漏らさないよう配慮 	活動状況	市民	個人に対する地域で話せる場づくりについての質問では、井戸端会議52%や参加してる団体活動(自治会30%、地域団体27%、福祉団体36%)で場づくりしていることがわかるが、若い世代がしていない等、入力されていた。【177/222】	B	方針	I 拡大
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間同士で気軽に話し合える場を作る ・困った仲間がいたら相談事業を伝える ・仲間同士で気軽に話し合える場を作る 		地域団体に対する話し合いの場づくりについての質問では、環境づくりをしたが82%と一番多く、窓口の紹介や役員等が相談を受けたが各22%と続いた。活動は行われており継続、拡充をしていただくことが望まれる。【50/58】				
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・各組織で相談事業を展開 ・様々な福祉相談事業を把握、相談の紹介 ・組織独自で住民等が集える場を企画 ・インターネット等を活用した相談しやすい環境づくり 		法人等に対する話し合える環境づくりについての質問では、仲間づくりや活動を通して行ったが75%で多数を占め、窓口を紹介したが18%、役員等の対応が9%で続いた。適宜受付できる体制について入力が見られた。会社としての法律に沿った窓口設置や仲間が集える場所の提供など、今後も取り組んでいただくことが望まれる。【65/86】				
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の話し合いの場づくりを支援 ・市社協の事業として展開 ・各種相談窓口の紹介 ・相談技術向上のための職員の資質向上 		市社協	・全支部で話し合いの場や相談事業を展開している。			
					成果や課題	井戸端会議や話し合える環境づくり、仲間づくり等取り組んでいただいていることがわかる。プライバシーなどの問題は継続されるが、回答者の取り組みの数が実施率が50%を超えていることから、昨年度と同じく【判定B・方針I】とする。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価			
				判定	B 市全体で概ね実施できている	方針	イ 拡大
(1) みんなで支え合い協力し合える仕組みづくり	③地域団体や社会福祉法人、NPO法人等の地域活動	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・組織が行う活動に興味を持つ ・活動に募集があれば参加 ・住民同士で声を掛け合い情報共有 ・自分に合った活動を探してみる 	活動 状況	市民	個人に対する地域団体等への活動参加についての質問では、自治会活動が53%、地域活動が41%、福祉活動が38%となった。若い世代がしていない、わからないと入力されていた。【168/222】	
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・組織が行う活動に興味を持つ ・団体独自の地域活動を企画 ・地域活動に参加 		地域団体	地域団体に対する自主活動や他団体活動についての質問では、独自の活動が52%と一番多く、他団体との連携が44%、地域への呼びかけが42%と続いた。連携のほうも数値が高く、今後も継続した活動が望まれる。【54/58】	
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・組織が行う活動に興味を持つ ・組織独自の地域活動を企画 ・地域活動に参加 ・様々な意見を取り入れ、活動の参考にする 		法人等	法人等に対する他団体との連携、参加についての質問では、他団体の活動を調べたが49%が一番多く、連携したが37%、地域への呼びかけや企画が各10%台で続いた。時間や感染症対策の拘束がある中、できることの検討を今後も進めていただくことが重要と思われる。【67/86】	
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の地域活動を応援 ・活動に参加 ・公益活動やボランティア活動を支援 ・他機関との連携を深める 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・全支部で概ねいろいろな活動に参加したり、応援している。 ・コロナ禍で停滞したものもある。 ・他団体との新規連携が進んでいる。 	
					成果 や 課題	自治会活動や団体活動、地域での連携が見て取れる。個人の場合、世代や諸事情で格差はみられるが、この計画を通じて、少しずつ理解を深めながら、できる範囲の参加や協力を考えてもらうとよい。団体、組織についても継続した活動や連携で協力を深めていただけるとよい。回答者数、選択数の改善も見られ【判定B・方針イ】に更新する。	

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(1) みんなで支え合い協力し合える仕組みづくり	④各種福祉制度の周知・利用	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な制度がある事に興味を持つ ・興味がある制度を調べる ・知っている情報を伝えあう ・制度を利用または参加 	活動状況	市民	個人に対する各種福祉制度の利用等についての質問では、回答された多くの方が調べたり(56%)教えた(29%)りしていることがわかる。福祉制度の担い手も30%回答があった。若い世代がしていない、わからないと回答していた。【173/222】			
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・団体で制度の調査活動を行う ・団体で協力できる活動を検討 ・必要な会員に制度を周知 		地域団体に対する制度の周知や利用についての質問では、調べたが50%で一番多く、周知が41%、利用が33%と続き、何かしら制度を活用しようとしていることがわかる。制度は変更があるため、今後も適宜調査、利用してもらうことが望まれる。【48/58】				
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・制度に興味を持つ ・制度の研修を行う ・参画出来そうな制度に取り組む 		法人等に対する各種制度の周知、利用についての質問では、調べたが59%で一番多く、周知が30%で続いた。法人等としても利用したが8件選択された。こちらは各組織で十分把握されている事項と思われるが、新たな情報の確認を今後とも進めていただく必要があると思われる。【59/86】				
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・制度も把握するように努める ・各種制度の研修を行う(参加する) ・各種福祉施策に取り組む ・福祉制度の周知活動に取り組む ・新たな情報の周知方法を検討 		市社協 <ul style="list-style-type: none"> ・概ね周知や広報活動を行えている。 ・基幹相談事業の市の委託でのホームページ閲覧は順調。 ・コロナ禍で研修を一部行えていないことや多量の情報に対応しきれていない点は継続している。 				
				成果や課題	回答者については、調べたり、伝え合ったりしていることがわかる。いろいろな制度が幅広くあり、また周知方法もさまざまである点は継続する。今回のアンケートでもわかるように高齢者のインターネット普及は十分ではないため、地域の関係性拡充による口コミやインターネット普及が徐々に改善されること期待したい。回答者から見た実施率は50%以上あり、【判定B・方針イ】とする。				

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価				
				判定	B 市全体で概ね実施できている	方針	イ 拡大	
(1) みんなで支え合い協力し合える仕組みづくり	⑤ 共同募金等、福祉募金や寄付への協力	市民	<ul style="list-style-type: none"> 募金活動を把握 どんな寄付があるか調べる 使い道を調べてみる 募金活動に参加、協力 	活動状況	市民	個人に対する寄付についての質問では、回答された85%の方が何かしら協力されていることがわかる。使い道など調べる点は低くなっており、自ら考え寄付したものではなく、自治会費からなど、定例的になっているものが多いと思われる。【185/222】		
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> 募金活動を把握 どんな寄付があるか調べる 使い道を調べてみる 募金活動に参加、協力 		地域団体	地域団体に対する募金協力についての質問では、寄付での協力が64%で一番多く、ボランティア参加が23%、募金先を調べたが13%と続いた。個人の対応という意見が入力されていた。いろいろな福祉団体が活動され支援を求めているため、今後もできる範囲の協力を検討いただけるとよいと思われる。【51/58】		
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> 募金活動を把握 どんな寄付があるか調べる 使い道を調べてみる 募金活動に参加、協力 		法人等	法人等に対する募金や寄付についての質問では、寄付した人が55%で一番多く、調べた人が29%、ボランティア参加が16%となった。していないの人も数件見られた。福祉団体の活動は支援が必要なものが多いため、今後も理解促進を進めていただくことが重要と思われる。【67/86】		
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 募金活動・寄付活動の把握 使い道の調査 ボランティア活動を募集、実施 募金活動、寄付活動を周知 寄付文化の醸成 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 各種募金や寄付の活動は概ね行っている。 災害義援金の周知はホームページにより定期的に行うようになった。 		
						成果や課題	回答者の多くが何かしらの協力をされていることがわかる。今回のアンケートは若い人にもご協力いただいたことで、寄付について少しでも伝わったのではないかとと思われる。いろいろな寄付が増えている中、福祉募金の重要性をさらに理解いただき、継続していくこと必要である。回答者の取り組む活動実施率を考慮し、【判定B・方針イ】とする。	

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価				
				判定	B 市全体で概ね実施できている	方針	イ 拡大	
(2)人 と人、 組織を 繋げる ネット ワーク づくり	①地 域の コミュ ニケー ション 活動	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニケーション活動 ・孤立している人を気にかける ・災害時など声を掛け合える ・様々な地域活動、イベントに参加、交流 ・世代を超えた交流 	活動 状況	市民	個人に対する地域でのコミュニケーションについての質問では、あいさつが92%、世間話や声掛けが50%台で多くの方がコミュニケーションをとっているのがわかる。災害時等の連携も11%見られ、今後はこちらの拡充も望まれる。【215/222】		
		地域 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニケーション活動 ・孤立している人を気にかける ・災害時などに声を掛け合える ・様々な地域活動、イベントに参加、交流 ・世代を超えた交流 		地域 団体	地域団体に対する地域のコミュニケーションについての質問では、あいさつが67%で一番多く、地域活動への参加や声掛けがほぼ同数で続いた。世間話46%や災害時等の連携も20%あり、どの項目の数値も平均的に高く、今後も継続した活動が望まれる。【58/58】		
		法人 等	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ等の声掛け活動 ・孤立している人の支援を考える ・災害時などに声を掛け合える ・様々な地域活動、イベントに参加、交流 ・人との関わりを維持する方法を検討 		法人 等	法人等に対する地域でのコミュニケーションについての質問では、あいさつが91%で一番多く、地域活動への参加が44%で続いた。声掛けや世間話、災害時等の連携も10件以上選択されていた。人や組織通しのつながりで事業の拡充やスムーズ化が図られるため、今後ともできる範囲の取り組みが望まれる。【79/86】		
		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や団体の活動を支援 ・様々交流促進を促す ・地域コミュニティ活動の周知 		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画どおり支援できている。 ・コロナ禍により、支援困難なケースも継続した。 		
						成 果 や 課 題	あいさつや声掛け、活動参加時のコミュニケーション活動については継続して行われており、地域づくりの基盤となる活動が行えている。災害時やその他の必要時にも声かけられる地域づくりを今後も継続していく必要がある。回答者の実施率は過半数を超えており、昨年度と同じく【判定B・方針イ】とする。	

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(2) 人と人、組織を繋げるネットワークづくり	② 気軽に集まれる活動、場所づくり	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で気軽に立ち話 ・自分に合う活動を探す ・サロンや趣味活動等に参加 ・ボランティア等、担い手になる ・人との関わりが苦手な人等の理解を促進 	活動 状況	市民	個人に対する活動や場所づくりについての質問では、井戸端会議43%や地域団体活動47%で多くが参加されている。その他の活動も選択されており、各人で興味を持つ何かしらの活動に参加されている。男性、若い世代でしていない、知らないの inputs をされていた。【165/222】			
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく集まれる企画を検討 ・企画した活動に参加者を募集 ・イベント等に会員同士で参加 ・他団体等との人とも交流を深める ・感染予防対策 		地域団体に対する活動や場所づくりについての質問では、地域団体(ボランティア団体含む)の活動が66%と一番多く、サロン52%や公民館活動41%などが続いた。地域団体では仲間を募集したり活動募集していることがあり、地域にある団体同士について知ることから始め、交流してもらえるとよいと思われる。【53/58】				
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく集まれる企画を検討 ・企画した活動に参加者を募集 ・イベント等に組織で参加 ・他組織等との人とも交流 ・感染予防対策 		法人等に対する集まれる活動、場所づくりについての質問では、地域団体活動が40%が一番多く、井戸端会議やサロン、公民館活動、NPOが15%程度で選択された。していないの inputs も数件寄せられた。いろいろな交流でいろいろな効果が生まれる重要な事項であるため、今後とも継続していただくことが望まれる。【59/86】				
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく集まれる企画を検討 ・企画した活動に参加者を募集 ・イベント等に組織で参加 ・他組織等との人とも交流 ・感染予防対策 		<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画どおり支援できている。 ・一部活動が支援できていない。 ・コロナ禍により、中止となる行事が継続して見られた。 				
						成果 や 課題		地域での交流や団体活動を主に活動されている。一部知らないとの意見もあり、地域づくりによって楽しく、いきいきとその地域で暮らせる一助となる点の理解を広めていくことが必要であると考え。回答者から見た実施率は5割以上であり、昨年度と同じく【判定B・方針イ】とする。	

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ			
							市全体で概ね実施できている		拡大			
(2)人 と人、 組織を 繋げる ネット ワーク づくり	③各 種活 動へ の参 加、 呼 びか け活 動	市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりを深める 気軽に話せる仲間づくり 各種地域団体活動に参加 一人で悩まず、各種相談事業を利用 	活動 状況	市民		個人に対する参加、呼びかけについての質問では、地域活動など何かしらの活動に64%以上の方が参加したり、その半数に減ってしまうが呼びかけや仲間づくりにも関与していることがわかる。中年層や若者世代の一部でしていないと入力されていた。【167/222】					
		地域 団体	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々に参加を呼び掛け 気軽に相談できる場所を作り 非会員でも参加できる活動を検討 楽しく集まってもらえる工夫 感染予防対策 				地域 団体	地域団体に対する参加、呼びかけについての質問では、参加したが73%で一番多く、呼びかけたが58%、仲間づくりが46%、参加してもらえる工夫が35%など、ネットワークづくりに努めておられることがわかる。今後も継続した活動が望まれる。【56/58】				
		法人 等	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に相談できる事業を検討 地域の人々と交流を深める活動を検討 楽しく集まってもらえる工夫 感染予防対策 					法人 等	法人等に対する活動への参加や呼びかけ活動についての質問では、参加したが51%で一番多く、呼びかけたが30%で続いた。活動の工夫や活動を通じての仲間づくりが10件程度選択されていた。特になしなどの入力も数件見られた。新たな仲間を増やしたり、充実した活動とするために重要であり、今後も継続した活動が望まれる。【62/86】			
		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> つながりを深める活動を応援 関係機関と連携、活動の交流を促進 各種情報を調査、情報提供 						市社 協	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画どおり支援できている。 協力機関の協力を得て、いろいろな呼びかけができている。 インターネットの活用が増えて、情報の提供量が増加している。 		
											成 果 や 課 題	活動参加や呼びかけでの仲間づくり等、いろいろな形でネットワークづくりが推進されていることがわかる。昨年度はメンバーの固定化、コロナ禍などの問題の記入が見られたが、今年度はいろいろな工夫に選択を付けられる方もあり、またコロナの取り扱いも変更になったことから今後のさらなる活動に期待される。回答者の実施率から昨年度と同様【判定B・方針イ】とする。

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標 +A29	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価				
				判定	B 市全体で概ね実施できている	方針	イ 拡大	
(2)人 と人、 組織を 繋げる ネット ワーク づくり	④情報 の確認、 発信方 法の検 討	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な情報に興味を持つ ・防災無線等のサービスを活用 ・色々な情報ツールを活用 ・身近な人と情報を共有 ・わからないことは気軽に尋ねる 	活動 状況	市民	個人に対する情報の把握、発信についての質問では、市報やインターネットが50%台で多く、ついで自治会の回覧などで情報を得られていることがわかる。なかには知人等から情報確認しているなどコミュニティ活動もみられた。【193/222】		
		地域 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な情報に興味を持つ ・防災無線等のサービスを活用 ・色々な情報ツールを活用 ・会員等と情報を共有 ・わからないことは気軽に尋ねる 		地域 団体	地域団体に対する情報の確認や発信についての質問では、市報が69%と一番多く、自治会回覧が60%と続いた。窓口、知人等への確認が30%程度となっている。組織から比べるとインターネットの確認が減少している。今後もいろいろな情報ツールの活用や互いに伝え合う活動をしていただくことが望まれる。【53/58】		
		法人 等	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な情報に興味を持つ ・防災無線等のサービスを活用 ・色々な情報ツールを活用 ・組織内で情報を共有 		法人 等	法人等に対する情報の確認、発信についての質問では、インターネットでの確認が54%で一番多く、市報が45%と続いた。その他では独自のチラシ配布や安心メール活用の入力があった。組織としていろいろなツールやつながりがある中、今後も地域にわかりやすく伝えていただけるとよいと思われる。【68/86】		
		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な情報を把握 ・組織内で情報を共有 ・ホームページ等で情報を周知 ・色々な情報の周知方法を検討 ・他機関と連携した強化 		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画どおり活動している。 ・ホームページなどでの周知など、インターネットの活用も増加した。 ・膨大な情報に対応できない点は継続している。 		
						成 果 や 課 題	個人、団体では広報誌や地域でのやり取り、法人等ではインターネットでの確認が多かった。少しずつインターネットが普及し、情報の確認方法が便利になることが望まれる。また地域のつながりが進展することでお互いで情報のやり取りができることが望まれる。回答者が取り組む活動の数値の改善を考慮し、【判定B・方針イ】に更新する。	

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(2)人 と人、 組織を 繋げる ネット ワーク づくり	⑤防 犯防 災活 動の 充 実	市民	<ul style="list-style-type: none"> 自分で出来る防犯防災活動 地域に声掛けや支援が必要な人いるか考える 地域や行政等の活動を調べる 地域や諸団体の活動に参加 近年の災害の傾向に興味を持つ 	活動 状況	市民	個人に対する防犯防災活動についての質問では、防災グッズ等の準備が65%で一番多く、行政サービスの防災無線の設置31%や地域等で行われている防災講座の参加28%などで気にかけておられる。声掛けや自主防災などの拡充、参加が望まれる。【189/222】			
		地域 団体	<ul style="list-style-type: none"> 団体内で防犯防災活動を考える 団体で取り組める活動、支援について考える 地域や行政等の活動を調べる 地域や諸団体の活動と連携 		地域団体に対する防犯防災活動についての質問では、防災講座等への参加が32%で一番多く、声掛け30%や防災グッズ27%など、防災に役立つ対応が多く多くの団体に選択されていた。事業所での対応ではしていない、の入力が見られた。団体としてできることを検討され、今後も取り組んでいただくことが望まれる。【43/58】				
		法人 等	<ul style="list-style-type: none"> 組織内で防犯防災活動を考える 組織で取り組める活動、支援について考える 地域や行政等の活動を調べる 地域や諸団体の活動に連携 		法人等に対する防犯防災活動についての質問では、講座、訓練への参加が50%で多く、防災グッズ等の準備が47%、組織内に何かしらの整備をしたが36%となった。声掛けも7件あり組織体制として多くが何かしら気にかけていることがわかる。異常気象が増加する中、組織としても体制の強化が望まれる。【69/86】				
		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> 地域や団体等が行う活動を支援 防犯防災についての研修、周知活動 必要な資材等の備蓄 災害時に備えた体制の整備 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画どおりの活動を行っている。 一部災害ボランティア派遣実施。 支部自体の防犯、防災体制の整備が弱い。 コロナ禍による研修の未開催。 			
						成果 や課 題		各区分とも取り組める内容が広く選択されている。近年災害や犯罪が増加傾向にある中、今後も取り組んでいただきたい項目である。自助でできること互助でできることがあり、互助の一環である声掛けなどで地域づくりを推進してもらいたい。回答者が取り組む実施率も5割を超えており、昨年度から判定を更新し【判定B・方針イ】とする。	

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(2) 人と人、組織を繋げるネットワークづくり	⑥ 感染症予防と人権保護	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について調べる ・感染症予防を取り入れ活動(時勢に沿って柔軟に) ・情報を地域住民で共有 ・根拠のない噂話等はやめる ・誹謗中傷などの行為はやめる 	活動状況	市民	個人に対する感染症予防や人権保護についての質問では、簡単にできるマスク対策が一番多く95%で、情報の確認が51%と続いた。誹謗中傷はしないという質問については61%回答いただいた。新たな感染症等の対応時に今回の経験が生かされることが望まれる。【214/222】			
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について調べる ・感染症予防を取り入れ活動(時勢に沿って柔軟に) ・根拠のない噂話等はやめる ・誹謗中傷などの行為はやめる 		地域団体	地域団体に対する感染症予防や人権保護についての質問では、マスクなど自分でできる対策が96%と一番多く、人権保護についても63%と半数以上が理解をしている様子が見られた。新たな感染症等の対応時に今回の経験が生かされることが望まれる。【55/58】			
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について調べる ・感染症予防を取り入れ活動(時勢に沿って柔軟に) ・根拠のない噂話等はやめる ・誹謗中傷などの行為はやめる 		法人等	法人等に対する感染症予防や人権保護についての質問では、マスクなどの対策が89%と一番多く、情報確認が51%、誹謗中傷への注意が44%、工夫を取り入れた活動が23%と多くの組織が対応に気を配られていることがわかる。その他で職員研修での人権研修の入力が見られた。今後も継続した取り組みが望まれる。【84/86】			
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関等と連携、時勢にあった感染症予防の周知 ・時勢に沿って柔軟な感染症予防対策を取り入れ ・人権相談等を紹介 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策、周知については概ね達成している。 ・人権についての活動は、実施のない支部もあり不十分と思われる。 			
						成果や課題	自分でできる対策から高い数値となっており、他の項目も幅広く選択されている。コロナ対応では病院施設等と住民とで緊張感の差異は感じるものの、概ね落ち着いてきていると思われる。多くが感染症対策、人権について考え対応しており、今後も継続して対応されることが望まれる。回答いただいた方の実施率を考慮し、昨年度と同じく【判定B・方針イ】とする		

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(3) 福祉を支える人づくり	①福祉員等、地域ボランティアの設置	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアに興味を持つ ・自分ができるボランティアを探す ・地域の人々とともに活動に参加 	活動状況	市民	個人に対する地域ボランティアについての質問では、自治会や学校関係がともに47%で一番多く、福祉団体活動も42%と続いた。地域団体活動も34%あった。若い世代でしていないと多く入力されていた。若い世代の方にも興味を持ってもらうところから各活動が取り組むことが必要と思われる。【175/222】	B	方針	イ 拡大
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を行う人材を発掘 ・ボランティア活動を検討 ・地域のボランティア活動に参加 ・無理のない範囲で仲間づくりを継続 		地域団体	地域団体に対する地域ボランティアについての質問では、独自のボランティア活動が54%と多く、他の活動への協力や会員への呼びかけが40%代、学校活動への協力が30%代で続いた。その他児童に対するものや交通安全に関するものが25%となっている。今後も各団体で検討した活動を推進されることが望まれる。【55/58】			
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を行う人材を発掘 ・ボランティア活動を検討 ・地域のボランティア活動に参加 ・地域とのつながりを持つ 		法人等	法人等に対する地域ボランティアについての質問では、学校活動への協力が55%で一番多く、独自活動が32%、福祉活動への協力が25%と続いた。その他の活動も幅広く選択されていた。組織として業務の都合がある中、地域との連携により、新たに見える組織活動があると思われるため、今後も検討をされることが望まれる。【70/86】			
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア活動を応援 ・ボランティアを育成する施策推進 ・情報収集、提供で活動と担い手を結ぶ 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり概ね活動できている。 ・過疎化、高齢化が進む地域では育成、設置が困難で、欠員の場合も出てきている。 ・社会福祉法人公益協議会の設置により、新たな形が進んでいる。 			
					成果や課題	回答者が行っている活動を幅広く選択いただいている。今回若い世代の方にご回答いただいたが、このようなものが地域にあるということに少しでも触れてもらい今後のつながりになればうれしいところである。回答者の活動実施率は50%を超えており、昨年度と同じ【判定B・方針イ】とする。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価			
				判定	B 市全体で概ね実施できている	方針	I 拡大
(3) 福祉を支える人づくり	② 地域人材、ボランティアの発掘、育成・次世代の育成	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアに興味を持つ ・自分ができるボランティアを探す ・地域の人々とともに活動に参加 ・若い世代へ活動への参加や担い手をお願い ・無理のない範囲で仲間づくりを継続 	活動 状況	市民	個人に対する地域ボランティアの育成についての質問では、ボランティアになったが52%と一番多く、声掛けも40%と続いた。中年層と若い世代の方がしていないと入力されていたほか、地域団体内での検討や民生委員として活動、高齢者が多く難しいの意見もあった。今後も継続、工夫した活動が必要と思われる。【150/222】	
		地域 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を行う人材を発掘 ・ボランティア活動に必要な研修会を開催 ・各種講座に参加したり、情報を共有 ・若手会員の育成について考える ・誰もが参加しやすい環境づくり ・無理のない範囲で仲間づくりを継続 		地域 団体	地域団体に対するボランティア育成についての質問では、出やすい環境を検討したが53%で多く、他団体への研修参加が31%、独自の研修会が19%、引継ぎ育成についての活動が17%で続いた。その他で業務量の削減について入力が見られた。育成や継承の問題は続いているため、今後も工夫した活動を検討いただく必要があると思われる。【47/58】	
		法人 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を行う人材を発掘 ・ボランティア活動に必要な研修会を開催 ・各種講座に参加したり、情報を共有 ・若手関係者の育成について考える ・誰もが参加しやすい環境づくり 		法人 等	法人等に対する地域人材の育成等についての質問では、出やすい環境の検討が42%と一番多く、引継ぎに係る活動や研修への参加なども22%選択されていた。していない、行動するのは難しいの入力も見られた。組織の地域貢献や組織内の仕組みづくりとして今後も継続いただけるとよいと思われる。【57/86】	
		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア人材育成を応援 ・ボランティア活動に必要な研修会を開催 ・ボランティア人材の育成、強化 ・情報収集、提供で活動と担い手を結ぶ 		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり概ね活動できている。 ・過疎化、高齢化が進む地域では育成が困難で、欠員もみられる。 ・自治会等との連携により、福祉員等の紹介、推薦が行われている。 	
						成果 や 課題	こちらの項目も高い数値ではないが幅広く選択された。前回のよう育成について問題点の記述はなかったが、継続されていると思われる。地域のつながりと同じく、こちらの項目も基礎となる点であり、継続して取り組んでいただきたい。回答者の過半数以上が取り組みの回答されており、判定を更新し【判定B・方針I】とする。

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(3) 福祉を支える人づくり	③ 子どもたちへの福祉教育	市民	<ul style="list-style-type: none"> 福祉活動に興味を持つ 家庭内で福祉について話す 福祉教育プログラムに参加 地域の活動に親子で参加 感染予防対策 	活動状況	市民	個人に対する福祉教育についての質問では、学校行事への参加が53%と一番多く、そのほか、家庭教育、コミュニティスクール、子ども会などが10%台で推移している。高齢層や若者世代でしていない、わからないなど入力されていた。子供たちを温かく見守り育てる視点を持つことから考えるとよいかも知れない。【157/222】	B	方針	イ 拡大
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> 団体で子どもたちとの関わりを考える 子どもたちへの福祉教育について検討 福祉教育を行う 学校等と協働して子どもたちと交流 感染予防対策 		地域団体	地域団体に対する福祉教育についての質問では、団体として企画が36%、学校行事への参加が34%、地域イベントに子供と参加が29%となった。子ども会やコミュニティスクールの選択も10件以下ではあるが幅広く選択された。今後も暖かな視点でできることに協力されることが望まれる。【44/58】			
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> 組織で子どもたちとの関わりを考える 子どもたちへの福祉教育について検討 福祉教育を行う 学校等と協働して子どもたちと交流 感染予防対策 		法人等	法人等に対する福祉教育についての質問では、学校への行事参加が50%と多く、組織として企画が24%と続いた。その他で実習生の受け入れや、専門分野のボランティアとの交流などの入力も見られた。業務の都合もあると思われるが、できる範囲で検討、学校等との連携が進められると良いと思われる。【66/86】			
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 福祉プログラムを検討、実施 学校等と連携し、福祉教育を実施 各種組織同士の橋渡しを行う 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画どおり行なえている。 1支部は学校の休校により対応がない。 他団体と連携した活動も行っている。 			
					成果や課題	学校行事、独自企画を中心に幅広く選択され、合計で見ると高い数値となっている。地域によって異なるが、コロナの取り扱いの変更により、学校やコミュニティスクールなどでのつながりが増加しつつあると思われる。個人として関わりは少ないかもしれないが、あらゆる場面で子供たちのお手本となれる可能性がある。回答者の活動状況から【判定B・方針イ】とする。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(3) 福祉を支える人づくり	④ 各種福祉講座の開催・参加	市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催されている講座に興味をもつ 自分に合った講座に参加 仲間に声をかけて参加 	活動状況	市民	個人に対する講座参加についての質問では、チラシでの確認が40%で一番多く、続いて参加したが29%となった。声掛けが16%あり、運営側の方の回答も見られた。知らないという意見もあり、情報提供の方法や各人に興味を持ってもらう、気にかけてもらうような検討が必要と思われる。【137/222】	B 市全体で概ね実施できている	方針	イ 拡大
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催されている講座に興味を持つ 会員に呼びかけ講座に参加 団体で行う講座を検討 団体独自の講座を開催 感染予防対策 		地域団体に対する講座の開催・参加についての質問では、参加したが53%で一番多く、情報を確認したが41%、呼びかけが32%と続いた。その他で新型コロナウイルスの影響の入りがあった。今後も工夫、拡充した活動の検討が望まれる。【43/58】				
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催されている講座に興味を持つ 職員に呼びかけ講座に参加 組織で行う講座を検討 組織独自の講座を開催 参加しやすい環境づくりを検討 		法人等に対する福祉講座についての質問では、情報確認が46%と一番多く、参加や呼び掛けが17%で続いた。組織によっては講座というものに関係ないものであったかもしれないが、関係のある部署はご回答いただいております。今後も減少傾向にある福祉人材の育成に取り組んでいただけたらと考える。【58/86】				
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座を立案実施 各種講座の広報活動 地域団体や組織が行う講座を支援 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画どおり推進している。 学校の休校で福祉教育が行えない。 高齢化や担い手不足による同じ方の参加。負担増は継続している。 広報誌、自治会回覧等が主な広報方法となっている。 			
					成果や課題	数値的には高くないが、情報の確認や参加等、幅広く選択されている。コロナの取り扱いの変更で地域の動きが見えてきたことがわかる。コロナのコメントも少なくなってきた。またweb開催の工夫が見られた。こちらも回答者の取組回答数に改善がみられるため【判定B・方針イ】に更新する。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(3) 福祉を支える人づくり	⑤自治会等の地域団体、福祉員等の福祉団体への理解促進	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域活動に興味を持つ ・様々な地域活動へ参加 ・地域団体へ意見を伝える 	活動状況	市民	個人に対する地域団体や福祉団体への協力についての質問では、会議に出席したが56%と多く、続いて委員なった27%、意見を伝えた22%が続いた。中年層、若者世代でしていないなどと入力されていた。意見を伝える、参画できる場が増えるとやりがいを感じてもらえるかもしれない。【141/222】	B	方針	イ 拡大
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動について理解 ・他の地域団体と交流 ・他の団体が行う活動に参加 ・会員等の声に耳を傾ける ・無理をせず、仲間づくりを継続 		地域団体に対する地域団体や福祉団体への理解促進についての質問では、会議に出席したが68%で一番多く、委員になったが39%、意見を伝えたが27%と続いた。役員の方が推薦の選択も14%されていた。各団体も地域でつながることがあるため、連携して助け合いながら、互いの充実に務めるとよいと思われる。【48/58】				
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動について理解 ・地域団体と交流 ・地域団体が行う活動に参加 ・色々な声に耳を傾ける ・地域のキーパーソンと関わりを持つ 		法人等に対する地域団体や福祉団体の理解促進についての質問では、会議出席が49%で多く、意見を伝えたが29%で続いた。委員になったも18%あり地域との連絡があることがわかる。組織の地域貢献やよりよい地域づくりに今後も寄与いただくことが期待される。【55/86】				
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動の重要性について周知 ・地域団体等との連携を深める ・地域福祉活動についての支援 ・広報活動、人材のマッチング 		<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画どおり活動している。 ・福祉員の見守り等で活動をアピールできている。 ・自治会長、民生委員の担い手など地域と調整を図っている。 				
					成果や課題	会議への出席協力が一番多く、他の項目も数値は下がるが幅広く選択されていた。個人の回答でしかないという入力が多くあり、昨年と同様、いろいろな関わりから関係づくりを持ち、徐々に理解を深めてもらう必要がある。数値的には回答者の活動が5割を超えており、【判定B・方針イ】とする。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(4)だれも見落とさない仕組みづくり	① 民生委員・児童委員、行政機関等関係機関との連携、情報共有	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や民生児童委員さん等の活動に興味も持つ ・地域の人と話せる関係づくり ・声掛けできる地域づくり ・相談できる関係機関を紹介 	活動状況	市民	個人に対する民生委員・児童委員や相談機関と接点があったかについての質問では、民生児童委員に相談したが38%で一番で多く、相談機関の紹介33%、相談機関へつなげたが24%で続いた。若い世代でしていない、わからないの输入があった。今後も身近な窓口の周知は必要と思われる。【143/222】			
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や民生児童委員さん等の活動に興味を持つ ・会員同士をはじめ会員以外の人とも交流 ・声掛けできる地域づくり ・相談できる関係機関を紹介 		地域団体	地域団体に対する関係機関との連携、情報共有についての質問では、相談したが38%と多く、機関へつなげた35%、紹介したの項目も30%で選択されていた。関係のあった様々な機関の输入が見られた。今後も各種機関と連携を図り、だれも見落とさないという大きな目標に取り組んでいくことが望まれる。【39/58】			
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や民生児童委員さん等の活動に興味を持つ ・組織内をはじめ組織以外の人とも交流 ・声掛けできる地域づくり ・相談できる関係機関を紹介 		法人等	法人等に対する関係機関との連携、情報共有についての質問では、機関につなげたが29%で多く、紹介25%、相談も23%となった。地域で見かけた解決すべき事例について関係機関との連携によりスムーズに解決されることがのぞましく、再認識いただくことが望ましいと思われる。【51/86】			
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりについて広報 ・地域づくりを活性化させる活動を検討 ・様々な組織と連携を図る体制作り ・相談の随時受け付け、関係機関と共有、連携した活動 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通り遂行している。 ・コロナ禍で停滞していた地域への働きかけも増加しつつある。 ・個人情報で情報のやり取りが困難な場合もある。 			
						成果や課題	数値は多くないが、回答者の半数以上が何かしら選択しており、概ね計画のどおり地域関係機関との連携はとられており、今後も関係機関との連携によりだれも見落とさない仕組みづくりや地域の諸問題を解決に導く方法を推進していただきたい。回答者の実施率も【判定B・方針イ】を継続する。		

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(4)だれも見落とさない仕組みづくり	②相談事業の展開	市民	<ul style="list-style-type: none"> 相談事業がある事を把握 困りごとがあったら相談 困っている人がいたら相談事業を紹介 	活動状況	市民	個人に対する相談事業利用等についての質問では、事業を紹介したが35%で一番多く、続いて事業を調べたが30%と続いた。利用したも13%あった。中年層と若者世代でしていない等の入力が見られた。若者にも気軽に相談してもらえる体制づくりを検討していく必要があると思われる。【131/222】	B	方針	イ 拡大
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に相談し合える関係づくり 相談事業がある事を把握 困りごとがあったら相談 困っている会員がいたら相談事業を紹介 		地域団体に対する相談事業についての質問では、調べたが42%と一番多く、紹介が36%で続いた。団体として利用したも7%選択されていた。様々な相談事業があり、その人に合ったものを適切に紹介できるよう、今後も継続していただくことが望まれる。【38/58】				
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に相談し合える関係づくり 相談事業がある事を把握 独自で出来る相談体制を検討 困っている人がいたら相談事業を紹介 		法人等に対する相談事業についての質問では、調べたが37%と一番多く、紹介が31%で続いた。利用したも11%あった。事業所として相談を受けるとい入力が見られた。組織として、職員の方や利用者等が困っておられるときに適切につなげる仕組みづくりが重要であるため、今後も継続することが望まれる。【51/86】				
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 相談事業がある事を把握 適した相談事業を紹介 様々な組織と連携した相談体制を検討、実施 各種相談事業等を周知 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画どおり計画を推進している。 インターネットでの相談受付を行っている。(ふれあいeタウン) 適宜相談受付、関係機関の紹介している。 			
					成果や課題	調べた、紹介したの項目が多く選択され、回答者の過半数以上回答いただいている。利用はその人によりさまざまであるため選択は少ないが、相談事業を知っておくことで、自ら相談したり紹介したり、地域で安心して暮らせる一助となるため、今後も地域で必要な活動として取り組んでいきたい。回答者の実施率も5割を超えており【判定B・方針イ】とする。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価				
				判定	C 一部で実施できている	方針	I 拡大	
(4)だれも見落とさない仕組みづくり	③くらしの応援	市民	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービスを把握 困ったらサービスを利用 サービス情報を地域住民で共有 適したサービスを紹介 	活動 状況	市民	個人に対するくらしの応援についての質問では、くらしの応援について調べたが47%で一番多く、続いて紹介した19%、利用した10%と続いた。中年層と若者世代でしていない等の入力と近年行われている子ども食堂の入力が見られた。今後も周知の拡充が必要と思われる。【119/222】		
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービスを把握 サービスを会員同士で共有 適したサービスを紹介 団体で出来るくらしの応援施策を検討 		地域団体	地域団体に対するくらしの応援についての質問では、調べたが37%で一番多く、紹介14%と利用11%で続いた。地域団体にはこの項目の周知が行き届いていないか仲間に対象がいないことが見て取れる。このような事業がある点をさらに知っていただく必要があると思われる。【35/58】		
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービスを把握 サービスを組織内で共有 適したサービスを紹介 組織で出来るくらしの応援施策を検討 		法人等	法人等に対するくらしの応援についての質問では、調べたが52%で一番多く、紹介が18%、利用が12%で続いた。組織にもこのような事業があることに興味を持っていただくことで、支援の輪が広がる可能性があり、今後も継続して取り組むべきものと思われる。【50/86】		
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービスを把握 サービスの情報を周知、共有 様々な生活支援施策を実施 適したサービスを紹介 関係機関と連携した活動展開 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画どおり活動を行っている。 フードドライブの流れが動いている。 関係機関と連絡を取っている。 		
				成果や課題	回答者の過半数以上は何かしら選択いただいている。その中で調べたが多くなっている。いろいろなサービスを知っておくことで地域で安心して暮らしていただけるため、今後も継続して活動いただきたい。市民の区分が回答者数の過半数以下の取り組みであったため、【判定C・方針I】とする。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	C 一部で実施できている	方針	イ 拡大	
				活動状況	成果や課題					
(4)だれも見落とさない仕組みづくり	④罹災者の支援	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・罹災者支援がある事を把握 ・罹災した場合、届け出する ・支援がある事を地域住民で共有 ・地域住民で助け合う 	活動状況	市民	個人に対する罹災者支援についての質問では、制度を調べたが51%で多数を占め、紹介7%と利用手伝い7%となった。広い世代でしていない等の入力が見られた。関わりがないと調べないものかもしれないが、知ることは重要であるため、今後も周知活動に取り組む必要があると思われる。【109/222】	C	方針	イ 拡大	
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・罹災者支援がある事を把握 ・会員が罹災した場合、届け出る ・支援がある事を会員同士で共有 ・地域住民、会員同士で助け合う 							地域団体に対する罹災者支援についての質問では、その他が36%と多く、調べたが28%と続いた。利用の手伝いや紹介も8%選択があり、団体としてコミュニティ支援をしていることがわかる。有事でないと必要ないものかもしれないが、知識として皆知り、助け合うことで福祉の拡充は図られるため、今後も継続していただく必要があると思われる。【25/58】
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・罹災者支援がある事を把握 ・関係者が罹災した場合、届け出る ・支援がある事を関係者で共有 ・公共支援等の紹介 							法人等に対する罹災者支援についての質問では、制度を調べたが51%で多数を占め、手伝い11%や紹介8%が少数だが続いた。こちらについてもこのような事業を知っていただくことで、近くに罹災者が発生した場合の助けになる可能性があるため、今後も継続することが望まれる。【45/86】
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・罹災者支援について広報 ・罹災受付を行い、手続き ・罹災者とボランティアの橋渡し ・公共支援等の紹介 							市社協に対する罹災者支援についての質問では、制度を調べたが51%で多数を占め、手伝い11%や紹介8%が少数だが続いた。こちらについてもこのような事業を知っていただくことで、近くに罹災者が発生した場合の助けになる可能性があるため、今後も継続することが望まれる。【45/86】
					成果や課題	日頃関わりのない事項であり、回答者も過半数を割ったところがあった。個人では調べたが多く選択され関心が出てきている様子がわかる。いざという時の助けになる制度であり、今後も広く知っていただく必要があると考える。実施率が回答者数の過半数以下の区分があるため【判定C・方針イ】とする。				

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(4)だれも見落とさない仕組みづくり	⑤見守り活動	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのコミュニケーション活動 ・孤立している人等を気にかける ・災害時など声を掛け合える付き合い ・プライバシーに注意して、関係機関へ連絡 	活動 状況	市民	個人に対する見守り活動の質問では、あいさつや世間話が68%と一番多く、続いて遠くからの見守りが36%、情報提供が28%、声掛けが10%と続いた。中年層と若者世代でしていないなどの入力が見られた。異常気象が増加する中、地域での支えあいの強化が望まれる。【167/222】			
		地域 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのコミュニケーション活動 ・孤立している人を気かけ、勧誘 ・災害時など声を掛け合える体制 ・プライバシーに注意して、関係機関へ連絡 		地域 団体	地域団体に対する見守り活動についての質問では、あいさつや世間話が70%で一番多く、団体としての組織的な活動が34%、遠くからの見守り、情報提供が30%で続いた。災害時等の声掛けもあり、地域コミュニティ活動の一環が見て取れる。今後も継続した活動が望まれる。【50/58】			
		法人 等	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛けや見守り活動 ・孤立している人等に声かけ ・災害時や普段の見守りについて組織で検討 ・プライバシーに注意して、関係機関へ連絡 		法人 等	法人等に対する見守り活動についての質問では、あいさつや世間話が55%と一番多く、情報提供や組織活動としてが16%で続いた。地域だけでなく、組織としても重要な事柄であり、互いに思いやる仕組みとして継続することが望ましいと思われる。【54/86】			
		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や団体の活動を支援 ・地域や様々な団体の交流を促進 ・福祉員による見守り活動を実施 ・プライバシーに注意して、関係機関へ連絡 		市社 協	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画どおり遂行している。 ・福祉員等、関係機関と連携し見守りを実施している。 ・個人情報があり、連絡疎通が難しい時がある。 			
					成果 や 課題		日ごろからあいさつなどで地域の関係づくりをされていることがわかる。また活動を通じてのものも団体、組織で見られる。個人ではプライバシーに配慮され活動されている。関係機関への情報提供も選択されているが、独居高齢者等が増加する今日、今後ますます必要な事項である。回答者の実施率を踏まえ、【判定B・方針イ】の継続とする。		

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	B	方針	イ
							市全体で概ね実施できている		拡大
(5) 住民や団体が活動、活躍できる環境づくり	① ボランティア活動の発信、紹介、斡旋	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報に興味を持つ ・ボランティアに参加 ・情報ツールを活用して輪を広げる 	活動状況	市民	個人に対するボランティア活動への関わりについての質問では、参加したが47%と一番多く、調べたが32%、担い手参加が27%と続いた。広い世代でしていないなどの入力が見られた。地域共生の観点から自分ができる範囲で何ができるか、まず考えてもらうことから始めるとよいと思われる。【155/222】	B	方針	イ 拡大
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報に興味を持つ ・ボランティア活動を検討また他団体の活動に参加 ・誰もが参加しやすい環境づくり ・団体で行う活動の情報を周知 ・情報ツールの活用 		地域団体に対するボランティア活動の関わりについての質問では、参加したが63%で一番多く、企画したが32%で続いた。周知25%や調査23%、担い手参加も23%選択されておりコロナ禍でも活動されている様子が見て取れる。今後でもできることを検討いただき、実施していただくことが望まれる。【52/58】				
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報に興味を持つ ・ボランティア活動を検討また他団体の活動にも参加 ・誰もが参加しやすい環境づくり ・組織で行う活動の情報を周知 		法人等に対するボランティア活動の発信、紹介等の質問では、参加したが45%で多く、活動を調べたが38%で続いた。周知、企画、担い手参加も10%程度あった。今後も組織と地域がつながり、いろいろな形、活動が生まれることが期待される。【62/86】				
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア活動を把握 ・ボランティア活動の広報 ・情報ツールを活用 ・関係機関と連携した周知活動 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的とは言えないが計画どおり実施している。 ・情報が膨大で一部との連携にとどまる。 			
					成果や課題	各区分とも参加が多く選択され、その後も幅広く選択されておりボランティア活動に理解を示されていることがわかる。今後も各人ができることに興味を持ち、地域活動等に参加されれば広く浸透していくと思われる。回答者の実施数が過半数を超えた点を考慮し、【判定B・方針イ】に更新する。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価				
				判定	B 市全体で概ね実施できている	方針	イ 拡大	
(5) 住民や団体が活動、活躍できる環境づくり	② ボランティア活動の支援	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に参加 ・地域の仲間に声をかけ ・違う形でも参加できないか考える 	活動 状況	市民	個人に対するボランティア活動支援についての質問では、参加したが44%で一番多く、声掛け28%や担い手での支援26%が続いた。何かできないか考えたことがあるが21%あり検討されていることがわかる。中年層と若者世代でしていないなどの入力が見られた。【161/222】		
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に参加 ・団体の仲間に声をかけ ・団体で行える後方支援を検討 		地域団体	地域団体に対するボランティア活動支援についての質問では、参加したが59%で一番多く、担い手で参加が34%で続いた。何かできることはないか考えた20%、声掛けが16%と団体としての配慮がうかがえる。支援できる内容はいろいろあり、記載しているものだけではないため、今後も検討、継続して行われることが望まれる。【49/58】		
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に参加 ・組織の仲間に声をかけ ・組織で行える後方支援を検討 		法人等	法人等に対するボランティア活動支援についての質問では、参加したが42%で多く、声掛けも25%で続いた。組織内の活動や災害ボランティアなど組織外への協力、個人への許可など様々な形があるが、組織としても地域貢献のいろいろな形を検討いただけるとよいと思われる。【64/86】		
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険の手続き ・活動費等の支援 ・広報や人材調整の支援 ・関係機関と連携した周知活動 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画どおり実施している。 ・コロナ禍で交流等の支援は難しいケースがあった。 ・情報提供や広報の支援など、十分とは言えない。 		
					成果 や 課題	この項目は活動に参加したの選択が各区分とも多くなっていた。違う形での支援、検討も選択されており前向きにとらえられている様子がわかる。組織では協力体制については検討が必要であるが、今後も継続していろいろな在り方を模索いただけるとよいと考える。回答者の実施率が5割以上であり【判定B・方針イ】に更新する。		

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価				
				判定	B 市全体で概ね実施できている	方針	イ 拡大	
(5) 住民や団体が活動、活躍できる環境づくり	③ ボランティアの交流促進	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に参加 ・地域の仲間に声をかけ ・ボランティア活動の必要性を理解 	活動状況	市民	個人に対するボランティア交流についての質問では、参加したが59%と一番多く、声掛けが26%で続いた。企画11%、事業実施10%で担い手側の回答も見られた。広い世代でしていないなどの入力が見られた。交流の促進で仲間が増えたり、活性化が図られることがあるため、今後も継続した活動が期待される。【150/222】		
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報に興味を持つ ・ボランティア活動を検討また他団体の活動に参加 ・団体で行う活動情報を周知 		地域団体	地域団体に対するボランティアの交流促進についての質問では、参加したが61%で一番多く、声掛けが28%、事業を行ったが21%と続いた。1団体の活動が主ではあるが、他団体との連携により深まる内容もあるため、今後も継続して行われることが望まれる。【42/58】		
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報に興味を持つ ・ボランティア活動を検討また他団体の活動に参加 ・組織で行う活動情報を周知 		法人等	法人等に対するボランティアの交流促進についての質問では、参加したが54%で一番多く、声掛けが22%で続いた。交流事業9%、企画8%も選択された。組織の活動にボランティアという活動自体が難しい中、行われている。今後もいろいろな視点でボランティアに関わりを持っていただくとよいと思われる。【62/86】		
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を把握 ・ボランティア活動について広報 ・ボランティアの交流できる場を設ける ・感染予防対策を講じる 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・十分ではないが実施している。 ・コロナ対策により実施を中止したり、中止を依頼したケースがあった。 ・オンラインを活用した動きが増えた。 		
				成果や課題	こちらの項目も参加したが各区分とも多くあがっていた。その他の選択も数値は低いが選択されており、前に進んでいるように見える。世代や引継ぎの問題は継続しているが、積み重ねが大切であることから継続で願います。判定については回答者数の取り組み数が過半数を超えており【判定B・方針イ】に更新する。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	C 一部で実施できている	方針	イ 拡大
				活動状況	成果や課題				
(5) 住民や団体が活動、活躍できる環境づくり	④ 様々なボランティア活動の充実	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に参加 ・地域の仲間に声をかけ ・自分で活動 ・継続的に活動 ・ボランティア活動の必要性を理解 	活動状況	市民	個人に対するボランティア活動の充実についての質問では、調べたが55%で多数を占め、家族などと話し合い8%や休暇取得7%、時間帯変更募集2%、ノベルティ1%などが少数ではあるが工夫が見られた。その他で広い世代でしていないなどの入力が見られた。担い手や参加者の拡充に関係があり、今後も継続した活動が必要と思われる。【120/222】			
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報に興味を持つ ・ボランティア活動を検討また他団体の活動に参加 ・活動情報の周知 ・つながりを大切する 		地域団体	地域団体に対するボランティア活動の充実についての質問では、声掛けが51%で一番多く、活動を調べたが32%、団体内で検討が29%、子どもが参加できる企画の検討、時間帯の検討が続いた。ボランティア拡充に必要な項目であり、今後も継続して検討いただく必要があると思われる。【37/58】			
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア情報に興味を持つ ・ボランティア活動を検討また他団体の活動に参加 ・活動情報の周知 ・つながりを大切する 		法人等	法人等に対するボランティア活動の充実についての質問では、活動を調べたが39%で一番多く、声掛け17%や子ども等が興味のある企画が15%と続いた。参加したくても参加できない、人手が足りないといった意見が前回調査であったため、企画するほうも参加するほうも今後もいろいろ工夫をしていただくことが望まれる。【58/86】			
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア活動を把握 ・ボランティア活動について広報 ・情報ツールを活用 ・人材育成、活動補助、人材紹介等 		市社協	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画どおり遂行している。 ・コロナ禍により一部活動の中止があった。 ・ホームページで助成金等の紹介した。 			
						成果や課題	質問では工夫の選択肢を設けたが、数は少ないものの選択されていた。数は声掛けが多くなっている。いろいろな事情がある中で参加側募集側が工夫されていることがわかる。このような動きにより、マッチングが進んでいくと思われる。回答者数の実施数が5割を割る区分があり【判定C・方針イ】とする。		

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	・追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。

第3次岩国市地域福祉活動計画検証シート【令和4年度実施に対する評価】

基本 目標	実施 計画	取組 区分	詳細計画	総括評価		判定	C	方針	I
							一部で実施できている		拡大
(5) 住民や団体が活動、活躍できる環境づくり	⑤ 支援施策の紹介、活用	市民	<ul style="list-style-type: none"> 活動支援の調査 自らできる支援活動 支援制度に申請、利用 わからないこと等窓口相談 	活動状況	市民	個人に対するボランティアの支援施策の紹介や利用についての質問では、調べたが48%が一番多く、周知と利用が15%で続いた。広い世代でしていないなどの入力が見られた。こちらの項目も各人いろいろ興味を持ってもらい、自分等に役立つ情報はありますか調べてみる事が望まれる。【120/222】	C	方針	I
		地域団体	<ul style="list-style-type: none"> 活動支援の把握 独自支援施策を検討 支援制度に申請、利用 わからないこと等窓口相談 		地域団体に対する施策の紹介、活用についての質問では、調べたと利用したが42%と同数、周知も28%あった。役立つ情報が隠れている可能性があり、いろいろなどから情報を仕入れることが重要と思われる。【38/58】				
		法人等	<ul style="list-style-type: none"> 活動支援の把握 独自支援施策を検討 支援制度に申請、利用 わからないこと等窓口相談 		法人等に対する支援施策の紹介、活用についての質問では、調べたが50%が一番多く、利用18%と続いた。組織にはいろいろな情報が入ってきたり発信したりすると思われるが、違うところにも耳寄りな情報があることがあり、アンテナを広く張り、広く周知等行うことが期待される。【50/86】				
		市社協	<ul style="list-style-type: none"> 活動支援の調査、周知 研修会等を周知 独自支援施策を検討 		<ul style="list-style-type: none"> 十分ではないが実施している。 研修会等の周知は概ね行っている。 他組織と連携した支援が検討された。 				
					成果や課題	この項目は担い手など施策に関係ないところの関係で低い数値となったと思われるが、回答された方は調べたり利用されている点が見て取れる。支援施策はいろいろなどから出ており、うまく活用してもらい活動の発展につなげてもらえたらと考える。回答者数の実施率が過半数以下のため【判定C・方針I】に更新する。			

【追加アクション】 ○策定評価委員会が令和4年度実績を勘案し、上記左側の当初計画に追加するアクションプランです。

個人	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	地域団体	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。
法人等	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。	市社協	追加なし。ただし従来計画の拡充が必要。